

No. 573
2019年
4月

OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055
<http://www.orj.or.jp/>

● 2019年度定時総会開催

定款第14条の定めにより、2017年度定時総会を下記の要領で開催いたします。代議員の皆様のご出席をお願いいたします。なお、総会の議決権は代議員のみですが、正会員は出席し意見を述べることができます。出席される場合は、事前に事務局にご連絡ください。多数の皆様のご参加をお願いいたします。

日 時：2019年4月25日(木) 17:00～

場 所：丸の内センタービル11F (株)日立製作所
大会議室

(〒100-8220 東京都千代田区丸の内1-6-1)

総会次第：

1. 2018年度事業報告の件
2. 2018年度収支決算報告および監査報告の件
3. 2019-2020年度役員承認の件
4. その他

● 2019年秋季シンポジウム (第81回)

日 程：2019年9月11日(水)

場 所：東広島芸術文化ホールくらら

実行委員長：谷崎隆士 (近畿大学)

● 2019年秋季研究発表会

日 程：2019年9月12日(木)～13日(金)

場 所：東広島芸術文化ホールくらら

実行委員長：土肥 正 (広島大学)

● 2019年度研究部会・グループ

先に募集を行いました2019年度研究部会・グループに今回も多数の申請書が提出されました。研究活動の公開性、実績等に照らして審査を行いました結果、別表のとおり研究部会・研究グループが承認されました。参加ご希望の方は、各部会・グループの主査・幹事までご連絡ください。

詳細は、本学会WEB「研究部会」および各部会WEBサイトをご覧ください。

(研究普及委員会)

● 2019年度新設研究部会・グループ紹介

【不確実状況下における意思決定とその周辺】

本研究部会は、関西地区において永年にわたり脈々と引き継がれてきた研究活動の流れを汲むものです。様々な不確実性が伴う状況での意思決定に関連する研究情報を紹介・収集・交換する場を提供します。

【危機管理と社会とOR】

安全な社会を目指すために、危機管理、緊急事態対処、防災などの分野での問題発掘とモデル化を議論する場を設け、これらの意思決定に関するOR研究の推進、普及を目的とします。

【ヘルスケアのOR】

OR研究者とヘルスケアサービスの現場実務家の連携により、医療・ヘルスケアに係る実測データに基づく数理モデル、アルゴリズム、統計の融合研究を推進し、「人間社会で使われるOR」の新たな応用分野を開拓する。

【インフラのOR的展望】

本研究部会では、持続可能的発展を支えるインフラストラクチャーの要件、インフラストラクチャーのソフトとハード両面の関係、インフラストラクチャーにおける危機管理、安全保障等の諸問題をORの視点から研究する。

【超スマート社会のシステムデザインのための理論と応用】

本研究部会では、最適化、ゲーム理論、アルゴリズム論、機械学習など、超スマート社会実現のために必要なオペレーションズ・リサーチ関連分野の理論と応用を発展させる議論と交流の場を提供する。

【動的決定モデルとその応用】

動的決定モデルを中心に、最適停止問題、マルコフ決定過程、ファジィ理論、統計解析などの研究をベルマンスピリットのもと、経済、経営、工学、ファイナ

ンス、スポーツ等への幅広い応用とともに取り組んで参ります。

〔信頼性とその応用〕

本研究部会は、基礎理論と応用分野の研究者が交流する場を提供して、基礎から応用へ技術の移転、応用から基礎への課題抽出を行います。年間を通じて各地で研究発表やチュートリアルを行うことを企画しています。

〔量子コンピュータと次世代計算機活用〕

量子コンピュータやイジングマシンなどを含む次世代計算機を用いて、最適化をはじめとしたORの問題や実社会における具体的な課題に対する活用方法を検討する。

● 研究部会・グループ開催案内

〔待ち行列〕

・第281回

日 時：2019年4月20日(土) 14:00～17:00

場 所：東京工業大学大岡山キャンパス西8号館 (W) 809号室

テーマと講師：

- (1) 「M/G/1モデルを用いた光アクセスネットワークの平均遅延時間の解析」
宮田純子（芝浦工業大学）
- (2) 「乱択ベータ展開」
富田祐作・来嶋秀治（九州大学）

〔ヘルスケアのOR〕

・第1回

日 時：2019年5月18日(土) 14:00～17:00

場 所：首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス B会議室

テーマと講師：

- (1) 「DEAから見た横浜市のがん・大腸がん検診受診率の効率性」
小笠原 悠（首都大学東京）
- (2) 「がん検診における費用対効果数理モデルの紹介」
阪口昌彦（神奈川県立がんセンター臨床研究所）
- (3) 「病院内における新生児患者の病棟間移動のMarkov連鎖モデル」
高木英明（筑波大学）、家内祐太（筑波総研）

問合せ先：幹事 小笠原 悠

E-mail: ogayu@tmu.ac.jp

● 2019年度研究部会・グループ一覧

常設研究部会

A	常設部会名	主 査	幹 事
1	待ち行列	笠原正治 (奈良先端科学技術大学院大学) kasahara@is.naist.jp	フンドック トゥアン (筑波大学) tuan@sk.tsukuba.ac.jp
2	数理計画 (RAMP)	土谷 隆 (政策研究大学院大学) tsuchiya@grips.ac.jp	北原知就 (東京工業大学) tomonari.kitahara@econ.kyushu-u.ac.jp
3	評価のOR	後藤美香 (東京工業大学) goto.m.af@m.titech.ac.jp	伊豆永洋一 (神奈川大学) izunaga@kanagawa-u.ac.jp
4	意思決定法	水野隆文 (名城大学) tmizuno@meijo-u.ac.jp	飯田洋市 (諏訪東京理科大学) youichi.iida@gmail.com
5	サプライチェーン戦略	竹田 賢 (青山学院大学) takeda@busi.aoyama.ac.jp	草刈君子 kimiko.kusakari@nifty.com

研究部会

B	部 会 名	主 査	幹 事
1	エネルギーミックスの諸問題とOR	中川慶一郎 ((株)NTT データ) nakagawaki@nttdata.co.jp	宇田川佑介 ((株)構造計画研究所) yusuke-udagawa@kke.co.jp
2	データサイエンスとマーケティング分析	鈴木秀男 (慶應義塾大学) hsuzuki@ae.keio.ac.jp	朝日弓未 (東海大学) asahi@tsc.u-tokai.ac.jp 横山 暁 (帝京大学) satoru@yokoyamalab.org
3	最適化とその応用	高松瑞代 (中央大学) takamatsu@ise.chuo-u.ac.jp	田中未来 (統計数理研究所) mirai@ism.ac.jp
4	食とその周辺	大角盛広 (神戸学院大学) osumi@ba.kobegakuin.ac.jp	宇野剛史 (徳島大学) uno.takeshi@tokushima-u.ac.jp
5 ☆	不確実状況下における意思決定とその周辺	小出 武 (甲南大学) koide@konan-u.ac.jp	井上真二 (関西大学) ino@kansai-u.ac.jp
6 ☆	危機管理と社会とOR	諸星穂積 (政策研究大学院大学) morohosi@grips.ac.jp	鶴飼孝盛 (防衛大学校) ukai@nda.ac.jp 佐久間 大 (防衛大学校) sakuma@nda.ac.jp
7 ☆	ヘルスケアのOR	高木英明 (筑波大学) takagi@sk.tsukuba.ac.jp	小笠原 悠 (首都大学東京) ogayu@tmu.ac.jp 阪口昌彦 (神奈川県立がんセンター臨床研究所) sakaguchi@gancen.asahi.yokohama.jp
8 ☆	インフラのOR的展望	高嶋隆太 (東京理科大学) takashima@rs.tus.ac.jp	鳥海重喜 (中央大学) toriumi@ise.chuo-u.ac.jp
9 ☆	超スマート社会のシステムデザインのための理論と応用	牧野和久 (京都大学) makino@kurims.kyoto-u.ac.jp	山口勇太郎 (大阪大学) yutaro_yamaguchi@ist.osaka-u.ac.jp 森本 陽 (三菱重工(株)) yo_morimoto@mhi.co.jp
10 ☆	動的決定モデルとその応用	來島愛子 (上智大学) kurushima@sophia.ac.jp	吉良知文 (群馬大学/九州大学IMI) a-kira@si.gunma-u.ac.jp
11 ☆	信頼性とその応用	岡村寛之 (広島大学) okamu@hiroshima-u.ac.jp	鄭 俊俊 (立命館大学) jzheng@asl.cs.ritsumeimei.ac.jp

研究グループ

C	グループ名	主 査	幹 事
1	地域課題解決のOR	鈴木 勉 (筑波大学) tsutomu@risk.tsukuba.ac.jp	石井儀光 (国土交通省国土技術政策総合研究所) ishii-n92gb@mliit.go.jp
2	数理的発想とその実践	杉原一臣 (福井工業大学) sugihara@fukui-ut.ac.jp	春名 亮 (金沢学院大学) haruna@kanazawa-gu.ac.jp
3 ☆	量子コンピュータと次世代計算機活用	大輪拓也 ((株)富士通研究所) takuyaohwa@fujitsu.com	矢実貴志 ((株)NTT データ) Takashi.Yazane@nttdata.co

☆は2019年度新設

2019年度 第1回 ORセミナー 『Python言語によるビジネスアナリティクス』

開催趣旨: 実務家のための最適化・統計分析・機械学習などのオペレーションズ・リサーチの分野で必要となるツールの使い方をご紹介します。Python言語の文法を覚えた初学者にとって、デファクトスタンダードとなるライブラリを探す手間を省きます。Pythonのユーザーフレンドリーさと自由度の高さを体験しましょう。

参考書籍:

『Python言語によるビジネスアナリティクス』 http://logopt.com/python_analytics/

『Pythonによる数理最適化入門』 <http://www.asakura.co.jp/books/isbn/978-4-254-12895-6/>

『データ分析ライブラリーを用いた最適化モデルの作り方』 <https://www.kindaikagaku.co.jp/information/kd0580.htm>

日時: 2019年5月18日(土) 10:00~17:00

会場: (株)構造計画研究所 本所新館 (地下1階レクチャールーム)

〒164-0011 東京都中野区中央4-5-3 (東京メトロ丸の内線「新中野」駅1番出口 徒歩約1分)

<http://www.kke.co.jp/corporate/map/tokyo2.html>

コーディネーター: (株)ピープラウド (以下BP) 齊藤 努

司会: 東京海洋大学 久保幹雄

定員: 50名 (定員になり次第締め切らせていただきます。)

プログラム: (敬称略)

10:00~10:10 セッション0「環境構築について」 講師: BP 齊藤 努

10:10~10:40 セッション1「対話型シェルIPythonとJupyter」 講師: 東邦大学 並木 誠
インタラクティブに実行でき、記録・共有・再現に効果を発揮するIPythonの紹介

10:50~11:40 セッション2「データ分析」 講師: BP 齊藤 努
pandasによるデータ分析や可視化を紹介

11:40~12:20 セッション3「回帰分析」 講師: BP 齊藤 努
線形回帰, Ridge回帰, Lasso, Elastic Netなどを紹介

13:00~13:50 セッション4「機械学習」 講師: 東邦大学 並木 誠
機械学習の代表的なPythonモジュール: scikit-learnの主な分析手法を紹介

14:00~14:50 セッション5「最適化と深層学習」 講師: 東京海洋大学 久保幹雄
最適化問題を分類し、幾つかの代表的な最適化問題に整理するとともに、各最適化問題を解くためのソルバーとモデラーを紹介する。また深層学習の最新パッケージであるfastaiを紹介

15:00~15:40 セッション6「最適化~実践」 講師: 東京海洋大学 久保幹雄
数理最適化ソルバー Gurobi, PuLP, 非線形最適化ソルバー OpenOptを統一的に使用するためのモジュール, ならびに制約最適化とスケジューリング最適化のためのモジュール (SCOP, OptSeq) を紹介

15:50~16:30 セッション7「ネットワークと動的最適化」 講師: 東京理科大学 小林和博
グラフ・ネットワーク関連解析のためのモジュールであるNetworkXと動的計画の設計法を紹介

16:40~16:55 質問コーナーおよびアンケート記述

16:55~17:00 閉会挨拶 東京海洋大学 久保幹雄

参加費 (テキスト代込み): 正・賛助会員 (協賛学会員を含む) 5,000円, 学生会員1,000円, 学生非会員1,500円, 非会員2,000円

ORセミナー参加者特典: 一般, 学生を問わず会員でない方は, 入会金無料で入会でき (正会員/学生会員となる), 2019年度の年会費が免除されます。ご希望の方は, 参加申込メールに「ORセミナー参加者特典」利用による入会希望とお書き添えいただくとともに, OR学会WEBの入会申込のページより入会手続きをしてください。 (入会申込: <http://www.orsj.or.jp/whatisor/admission.html>)

申込先: 日本OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

お名前 (ふりがな), ご所属先, 正会員/学生会員/賛助会員/協賛学会員/非会員/学生非会員, お支払予定日を記入してメールにてお申し込みください。

申込締切: 2019年4月22日(月)

振込先: みずほ銀行 根津支店 (店番号235) 普通1530801 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
協賛学会: 日本経営工学会 (JIMA), 日本品質管理学会 (JSQC), 日本信頼性学会 (REAJ), 研究・イノベーション学会 (Jsrpim), 日本設備管理学会 (SOPE-J), 経営情報学会 (JASMIN), プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

*詳細は, OR学会WEBページ <http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html> をご覧ください。

2019年度年会費納入のお願い

2019年度（2019年3月1日～2020年2月29日）年会費の請求書を11月に発送しました。このうちよの支払取扱票は、2019年1月以降もご使用可能です。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名/法人名/法人名+個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書/見積書/納品書、指定用紙など）。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

年会費の口座振替（正会員）

年会費自動振替の方は2019年1月21日に「2019年度年会費」を引き落としいたしました。

2019年3月ご卒業の学生会員の方へ

1) ご就職により正会員として会員継続希望の方へ
 新所属先（郵便番号、住所、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス）、新自宅住所、連絡先メールアドレス（所属先/自宅）および、OR誌送付先（所属先/自宅）を事務局にお知らせください。
 2019年度の会費はそのままです。2019年11月に2020年度正会員年会費14,400円の請求書を発送いたします。

2) 退会希望の方へ

退会理由（卒業、大学院修了等）を書いて、メールにて事務局へご連絡ください。

年会費専用振込み口座

みずほ銀行 根津支店（店番号235）普通1124744
 口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
 シヤ ニホンオペレーションズリサーチ
 ガツカイ

郵便振替口座 00190-6-79492
 口座名：(公社)日本オペレーションズリサーチ学会

ゆうちょ銀行 ○一九（ゼロイチキユウ）(店番号019)
 当座 0079492
 口座名：(公社)日本オペレーションズリサーチ学会

年会費（不課税） 正会員 14,400円
 学生会員 5,000円
 シニア会員 7,200円
 *手数料は払込人様ご負担をお願いします。
 *お名前はフルネームでお書きください。
 *所属機関からお支払の場合は、対象の個人会員名と所属機関を事務局にお知らせください。

学生会員年会費無料化キャンペーン

OR学会では学会活性化の一環として、2013年度から開始した「学生会員年会費無料化キャンペーン」を継続中です。

1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。

- ①WEBからの入会申込み
- ②入会金600円のお振込み
- ③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）

以上3点をもって、無料化受付が完了します。

2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請/承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

特別会員について

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請/承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

OR学会事務局

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5
 サン・チカビル7F

TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

*各種お届けは、会員氏名と新旧の変更内容を明記してメールにてご連絡ください。

（住所/所属先/メールアドレス/ OR誌送付先等の変更、退会届）